

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会  
(第25期・第2回) 議事要旨

- 1 日時 2021年12月20日(月) 13:00~15:00
- 2 方法 遠隔会議 (Zoom)
- 3 出席者 沖大幹、三枝信子 (委員長)、春山成子、東久美子、阿部彩子、江守正多、大手信人、春日文子、齋藤文紀、佐藤薫、谷口真人、張勁 (幹事)、中島映至、中村尚 (副委員長)、原田尚美、氷見山幸夫、山形俊男、吉田丈人、渡辺知保、齊藤宏明、見延庄士郎

オブザーバ：金谷有剛、佐藤永、宮崎雄三

欠席者 植松光夫、大政謙次、蟹江憲史、高薮縁、福士謙介、山形与志樹

4 議題等

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 小委員会等からの活動報告
- (3) 国内外の動向に関する情報交換
- (4) その他

5 配布資料

資料1 FE・WCRP合同分科会第25期第1回議事要旨

資料2 FE・WCRP合同分科会委員名簿

資料3 第25期日本学術会議地球惑星科学委員会組織図

学術会議加入国際学術団体に関する調査票(WCRP・2021年)

学術フォーラム「新たな地球観」(2021年2月)

資料4 小委員会等からの活動報告

CliC 小委員会

CLIVAR 小委員会

GEWEX 小委員会

SPARC 小委員会

Future Earth Coasts 小委員会 (資料なし)

GLP 小委員会

IGAC 小委員会  
iLEAPS 小委員会  
IMBeR 小委員会  
PAGES 小委員会  
SOLAS 小委員会

資料5 国内外の動向に関する話題提供（春日委員）

## 6 議事内容

### (1) 前回議事録の確認

議事に先立ち、三枝委員長より、本日の FE・WCRP 合同分科会の議事次第が説明なされ、配布資料に基づき、第 25 期・第 1 回分科会の議事要旨（資料 1）、委員名簿（資料 2）、関連小委員会委員長・国際委員（非公開）の確認がなされた。加えて、本分科会の地球惑星科学委員会組織での位置づけ（資料 3-1）、学術フォーラム（資料 3-3）などの最近の活動が説明された。春日委員、中島委員より、加入国際学術団体の拠出金に関するこれまでの歴史・経緯（資料 3-2）の詳細、中村委員より審査過程などについて説明があり、意見交換がなされた。

### (2) 小委員会等からの活動報告

#### ■ WCRP に関わる小委員会

4つの小委員会《CLIVAR（見延委員・資料 4-02）と SPARC（佐藤委員・資料 4-04）、CliC・GEWEX（代理・三枝委員長）、》より、今年度の活動報告及び今後の活動予定などが説明された。見延委員より、WCRP の新たなコアプロジェクト「Earth System Modelling and Observations (ESMO)」と「Regional Information for Society (RIFS)」などに関する最新情報の共有、並びに現在募集中の国際事務局、国際委員の立候補などについての報告があり、関連情報の更なる収集の必要性・重要性が確認された。

#### ■ Future Earth に関わる小委員会

7つの小委員会《Future Earth Coasts（代理・張委員）、GLP（春山・第 1 回小委員会要旨）、IGAC（金谷委員・資料 4-07）、iLEAPS（佐藤（永）委員・資料 4-08）、IMBeR（齋藤（宏）委員・資料 4-09）、PAGES（齋藤（文）委員・資料 4-10）、SOLAS（宮崎委員・資料 4-11）》より、今年度の活動報告及び今後の活動予定などが説明された。新型コロナウイルス感染症による国内外研究への影響について、齋藤（宏）委員より白鳳丸での研究航海の現況、三枝委員より陸域研究における現況の情報共有がなされた。

### (3) 国内外の動向に関する情報交換

春日委員より、資料5にもとづき、Future Earthの統合的な活動(Facilitate Research & Innovation、Build and Mobilize Networks及びShape the Global Narrative)、関連する今年度の活動として「New Insights in Climate Science 2021」、「Sustainability Research and Innovation 2021」の報告と今後の活動予定などが説明された。この中で、今後、日本ハブが新しく支援するネットワークの概要についても説明がなされた。江守委員より、Future Earth日本委員会、運営委員会の新体制、今年度の活動報告及び今後の活動予定の紹介があった。春日委員より共有された資料5（公開用）は、後日、議事録とともに学術会議へ提出することになった。また、Future Earthのニューズレター(<https://futureearth.org/publications/newsletters/>)と日本語メーリングリスト(<https://forms.gle/cED1stBaFGqShET36>)の紹介があり、Future Earthに関連する小委員会の活動報告発信の場としての活用の呼びかけがあった。

### (4) その他

- ・三枝委員長より、カーボンニュートラル/脱炭素社会関連の小委員会・活動報告の情報共有協力の紹介があり、2022年1月に送付予定の調査票への回答依頼がなされた。
- ・金谷委員よりIGAC関連会議との関連性について、併せて大手委員からも質問があり、それらについて春日委員より、京都大学での開催会議、自然科学側と社会科学側の共働、ステークホルダーなど実務関係者及び若手や学生の広く参加を期待するFuture Earth活動の補足説明がなされた。
- ・渡辺委員より質問のあったHealth KANとIGACの連携について、金谷委員よりIGAC内の活動現況が説明された。
- ・渡辺委員より、STSフォーラム内でも議題に挙がったDrylandに関する国際シンポジウム（企画中）が紹介された。
- ・沖委員より、カーボンニュートラル関連シンポジウム第1回を令和4年3月13日に開催予定との紹介があった。
- ・阿部委員より、日本国内における気候モデリング関連研究の人手不足などの現状について情報共有がされた。それを踏まえて、今後、モデリング研究と周辺研究分野がどのように連携すべきかやコアプロジェクトとの関係性について種々の意見交換がされた。